

令和 4 年 度

## 国語科における実践研究

—諸調査結果を活用し、課題を解決するための効果的な授業についての提案—

仁 王 小 学 校	吉 田 寛 典
城 南 小 学 校	猪 鼻 裕 之
上 田 中 学 校	佐々木 美 香
黒石野 中 学 校	藤 原 誠 吉
学校教育課主任指導主事	山 下 るり子

令和5年1月  
盛岡市教育研究所

# 目次

I	研究主題	1
II	研究の目的	1
III	研究内容と方法	1
IV	研究の組織	1
V	研究の実際	1
	【提案①】	6
	【提案②】	8
	【提案③】	12
	【提案④】	16
VI	研究のまとめ	17
	(別添1)	18
	(別添2)	19
	(別添3)	21

## I 研究主題

国語科における実践研究  
～諸調査結果を活用し、課題を解決するための効果的な授業についての提案～

## II 研究の目的

令和4年度における諸調査の結果から明らかになった課題を解決するための授業について、国語科の資質・能力をよりよく身に付けることを目指した授業づくりから、改善例を示す。

## III 研究内容と方法

### 1 研究の内容

- (1) 言語活動を通して指導事項を指導する単元構想について
- (2) [知識及び技能]の指導事項と[思考力・判断力・表現力等]の指導事項の関連指導について

### 2 研究の方法

- (1) 理論研究
  - ・ 言語活動を通して指導事項を指導する単元構想について
  - ・ [知識及び技能]の指導事項と[思考力・判断力・表現力等]の指導事項の関連指導について
- (2) 実践研究
  - ・ 令和4年度における諸調査の結果についての分析
  - ・ 令和4年度における諸調査の結果から明らかになった課題に関わる学習の単元構想及び指導の手立ての研究協議
  - ・ 協議に基づく授業実践
  - ・ 指導の手引き（授業改善例）の提案

## IV 研究の組織

	氏名	所属
班長	猪鼻 裕之	城南小学校
副班長	佐々木美香	上田中学校
班員	吉田 寛典	仁王小学校
班員	藤原 誠吉	黒石野中学校

## V 研究の実際

### 1 言語活動を通して指導事項を指導する単元構想について

学習指導要領において、国語科の「指導事項」は、言語活動（理解と表現の循環）の中で求められる資質・能力の育成という観点から構成されている。言語活動の中で必要な資質・能力であるからこそ、「言語活動」の中で使いながら身に付けていくことが「よりよい獲得（生きて働く力）」になると考える。

子どもの実態を踏まえ、教材の特性を生かした「言語活動」を設定することで、子どもたちは主体的に思考・判断しながら表現し、その中で駆使した力の有用性を感じることで、付いた力の自覚を深める。この過程が次の学びの主体性につながるものと考えられる。

### 2 [知識及び技能]の指導事項と[思考力・判断力・表現力等]の指導事項の関連指導について

[知識及び技能]の資質・能力においても、先述した通り、理解と表現の循環の中で駆使しながら獲得していくことが望ましい。しかし、単元に位置付けた言語活動は、主に[思考力・判断力・表現力等]の資質・能力の獲得の際に有効であることから、[知識及び技能]の指導事項については、個別的な指導が行われてきた課題もある。

特に「語彙」の指導については、語句集めや語句調べ等の「蓄積」は継続されてきたものの、蓄積した語彙を「活用」する学習活動が十分に保障されていないため、語彙力の向上につながっていないことが考えられる。

今後は、授業者が意図的に獲得した語彙を活用する学習活動を位置付け、意識的に指導することにより、子どもの語彙力を自覚的・効率的に伸ばしていく必要があるものと考えられる。

### 3 令和4年度における諸調査の結果概要

#### (1) 全国標準学力検査（NRT）の結果

##### ① 小学校

本調査は、4月に4学年で実施した。出題内容は3学年の学習内容である。

##### 【大領域別集計結果】

領域 \ 正答率	盛岡市	全国	全国比
話すこと・聞くこと	72.1	67.0	108
書くこと	59.0	52.2	113
読むこと	66.1	60.5	109

##### 【問題別集計結果】

小問内容 \ 正答率	盛岡市	全国	全国比
情報を選び構成を考えて話す	56.4	50.0	113
話の中心を意識して聞く	71.3	68.0	105
話や意見の背景を考え話し合う	69.2	61.7	112
指示語の理解・丁寧な言葉で話す	83.5	80.0	104
情報を選び構成を考えて書く	61.3	53.3	115
目的に応じて工夫して書く	47.3	40.0	118
文章を整え感想や意見を伝え合う	42.7	37.5	114
漢字の書き・ローマ字の書き	76.1	70.0	109
主題や構成を読み取る	52.6	46.7	113
詳細を読み取って解釈する	55.7	50.0	111
考えや感想をもって伝え合う	63.2	55.0	115
漢字の読みと構成・辞書の活用	80.9	76.3	106

##### ② 中学校

本調査は、4月に2学年で実施した。出題内容は1学年の学習内容である。

##### 【大領域別集計結果】

領域 \ 正答率	盛岡市	全国	全国比
話すこと・聞くこと	64.4	63.3	102
書くこと	63.7	62.6	102
読むこと	52.4	49.6	106

##### 【問題別集計結果】

小問内容 \ 正答率	盛岡市	全国	全国比
情報を選び構成を考えて話す	65.2	63.3	103
目的に応じて話の内容をとらえる	70.3	66.7	103
工夫して話し、感想や考えをもつ	67.2	63.3	106
敬語を正しく使い話す	54.5	56.7	96
情報を選び構成を考えて書く	74.9	72.5	103
目的に応じて工夫して書く	66.7	65.0	103
文章を整え感想や意見を伝え合う	46.0	46.7	99
漢字の書き	52.0	52.5	99
主題や構成を読み取る	57.8	53.3	108
詳細を読み取って解釈する	64.4	62.5	103
考えや感想をもって伝え合う	51.1	50.0	102
古典・漢字の読み・品詞の理解等	47.7	44.6	107

#### 《考察1》

小学校では、全12設問で3.5～7.3ポイント、全国平均正答率を上回っており、中でも「構成を考えて話す・書く」「話し合う」「工夫して書く」「感想や意見を伝え合う」等の趣旨の設問で全国平均正答率を大きく上回っていることから、言語活動を通して指導事項を指導する授業の充実による成果が表われ、[思考力・判断力・表現力等]の資質・能力の向上が図られたと考えることができる。

中学校でも、同趣旨の設問での正答率は全国平均正答率を上回っているが、「感想や意見を伝え合う」では0.7ポイント下回り、上回っている他の設問でも全国との差が小さくなっていることから、中学校の授業づくりにおいても意識的な言語活動の位置付けが求められる。

併せて、小・中学校とも、[知識及び技能]の資質・能力の獲得に課題がみられることから、理解と表現の循環の中でよりよく習得できるよう、[思考力・判断力・表現力等]の資質・能力の指導と関連させた学習の充実が求められる。

## (2) 全国学力・学習状況調査の結果

### ① 小学校

本調査は、4月に6学年で実施した。出題内容は5学年までの学習内容である。

#### 【大領域別集計結果】

領域 \ 正答率	盛岡市	県	全国
話すこと・聞くこと	66.9	65.5	66.2
書くこと	54.5	50.3	48.5
読むこと	69.3	65.1	66.6

#### 【問題別集計結果】★記述式解答

小問内容 \ 正答率	盛岡市	県	全国
話し言葉と書き言葉の違いを理解する	88.0	85.8	85.5
相手とのつながりをつくる言葉の働きを捉える	68.9	68.2	68.8
必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える	85.5	84.1	84.7
★互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる	48.4	46.8	47.7
登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える	70.8	66.7	68.4
登場人物の相互関係について描写を基に捉える	71.5	67.3	70.6
★人物像や物語の全体像を具体的に想像する	72.0	68.8	68.3
表現の効果を考える	63.0	57.6	59.2
文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整える	62.0	58.7	59.2
★文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける	46.9	41.9	37.7
漢字を文中で正しく使う「録画」	73.8	69.6	65.2
「反省」	68.9	67.8	58.7
「親しむ」	76.7	73.0	67.1
漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く	83.4	81.6	77.9

### ② 中学校

本調査、4月に3学年で実施した。出題内容は2学年までの学習内容である。

#### 【大領域別集計結果】

領域 \ 正答率	盛岡市	県	全国
話すこと・聞くこと	69.2	65.3	63.9
書くこと	54.8	51.7	46.5
読むこと	71.7	66.8	67.9

#### 【問題別集計結果】★記述式解答

小問内容 \ 正答率	盛岡市	県	全国
聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する	79.5	75.9	74.7
論理の展開などに注意して聞く	70.0	66.1	65.1
★自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す	58.2	53.9	51.8
助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う	85.1	82.3	82.3
文脈に即して漢字を正しく使う 「除く」	86.8	84.5	82.1
「喜んで」	81.6	80.5	80.5
★自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く	54.8	51.7	46.5
表現の技法について理解する	61.6	55.5	52.5
事象や行為、心情を表す語句について理解する	88.6	84.9	84.0
場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える	64.8	59.7	62.0
★場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する	78.7	73.9	73.8
行書の特徴を理解する	40.3	38.7	39.4
漢字の行書の読みやすい書き方について理解する	91.6	89.2	90.1
漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する	81.7	80.5	81.1

### 《考察2》

本調査結果からも《考察1》同様、一定の成果を読み取ることができるものの、★記述式解答の設問において、解答を条件に沿って記述することに課題が見られた。3領域を通して、条件に沿って記述する学習活動を意識的に位置付け、指導を継続することが求められる。

また、本調査においても、[知識及び技能]の資質・能力に係る解答に課題が見られることから、習得のための個別的な指導ではなく、話す・書く等の表現活動の中での活用を通して獲得できるよう、学習活動の充実を図ることが大切と考える。

(3) 質問紙調査の分析

① 【表1】について

【表1】は、市学力向上推進事業「児童生徒一人一人に資質・能力を育成することを旨とした授業改善の推進」における検証項目「授業において、主体的・対話的で深い学びを促す教師の関わり」について、質問紙への回答状況と各教科正答率との相関を表したものである。

いずれの教科においても、肯定的回答をした児童生徒の正答率が、否定的回答をした児童生徒の正答率を一割程度上回っている。また、積極肯定で児童生徒回答が学校回答を大きく上回り、授業者の授業改善に向けた取組が児童生徒の学習活動の充実に繋がっている様子が読み取れる。

		児童生徒 質問紙 ※1	学校 質問紙 ※2	国語 正答率 ※3	算数・数学 正答率 ※3	理科 正答率 ※3
肯定的 回答	小学校	42.3%	14.6%	72.9%	67.8%	68.9%
		40.3%	48.8%	70.6%	65.3%	67.0%
	中学校	43.0%	30.4%	77.2%	59.4%	54.4%
		42.7%	56.5%	72.4%	52.9%	50.4%
否定的 回答	小学校	17.2%	36.5%	61.2%	57.1%	59.3%
	中学校	14.1%	13.0%	63.5%	42.4%	42.0%

【表1】 児童生徒質問紙「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」への回答状況と各教科正答率

※1 「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に肯定・否定回答した児童（生徒）の割合（「児童（生徒）質問紙調査」） 肯定的回答の欄は、上段が積極肯定、下段が肯定回答の割合（%）

※2 「調査対象学年の児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」に肯定・否定回答した学校の割合（「学校質問紙調査」） 肯定的回答の欄は、上段が積極肯定、下段が肯定回答の割合（%）

※3 ※1の児童生徒質問紙で、肯定的回答をした児童生徒の各教科正答率 上段が積極肯定、下段が肯定回答した児童生徒の正答率（%）

② 【表2】について

【表2】は、標準学力検査（NRT）における、本市の児童生徒の状況を表したものである。

得点の散らばりを表す「標準偏差」

（SD）の全国平均は「10.0」。これより数値が大きい場合は、様々な学力の児童生徒がいる集団状況、数値が小さい場合は、学力のレベルがそろっている集団状況と捉えることができる。

	教科	偏差値 平均	標準 偏差	5段階分布（%）				
				評定 1	評定 2	評定 3	評定 4	評定 5
小学校	国語	53.1	9.9	5	15	30	40	11
	算数	52.4	10.5	7	16	29	37	12
中学校	国語	51.0	9.0	4	20	38	33	5
	数学	49.4	11.3	11	24	28	27	11
	英語	48.8	10.9	9	29	32	22	9

【表2】 標準学力検査（NRT）の検査結果

※偏差値（評定1）～34 （評定2）35～44 （評定3）45～54  
（評定4）55～64 （評定5）65～

③ 【表3】について

【表3】は、評定1～5の標準的な分布と指導の指針を示したものである。

標準的な分布と比べて、どのような学力水準の児童生徒が多いかによって、

【表3】を参考に集団指導の際の指針を立てる必要がある。

このように、調査結果を活用して教科の平均正答率とのクロス分析を行い、学力との間に一定の関係が見られる項目を確認し、実態と照らし合わせながら分析することで、指導改善の手がかりを得ることができる。

評定	標準的な分布 （%）	現状の捉え
		指導の指針
5	7	非常に高い学力水準にある。 応用・発展的な課題に取り組みさせるのもよい。
4	24	高い学力水準にある。 集団の一斉指導でも学力向上が期待できる。
3	38	平均的な学力水準にある。 学習が遅れがちとなる児童生徒に個別に配慮しつつ、一斉指導の充実を図る。
2	24	平均より低い学力水準にある。 集団の一斉指導では学習が遅れがちとなる恐れがあるので配慮が必要。
1	7	平均よりかなり低い学力水準にある。 個別の支援が必要である。

【表3】〈例〉評定1～5の標準的な分布と指導の指針 ※（参考）「学力分析ツール 分析方法を知る」（国語文化）

#### 4 課題を解決するための効果的な指導法

諸調査結果及び市内小中学校の国語授業の実態を踏まえ、課題を【表A】の通りまとめる。

なお【表B】は、【表A】①～⑮の諸課題を解決するための指導の提案を一覧にしたものである。

【表A】

		小中共通課題	具体的な課題
知識及び技能		(1) 思・判・表との関連指導 (2) 継続的な指導	①蓄積した「語彙」の活用意識と活用場面 ②古典教材を通して「指導事項」を指導する意識 ③「読書」と各領域のリンク ④「情報」の捉え（テキストの中の「情報」の重視）
思考力 ・ 判断力 ・ 表現力 等	話すこと ・ 聞くこと	(1) 指導事項の分析と確実な指導  (2) 言語活動を通じた指導	⑤「言語活動」の指導と評価 →指導事項の意識の低さ →言語活動を指導し、言語活動を評価する傾向 ⑥音声言語の指導、評価の難しさ ⑦「考えの形成」の軽視 ⑧「敬語」「場や相手に応じた話し方」の指導
	書くこと		⑨「条件に合わせて書く」経験不足 →言語活動の偏り ⑩個人差の克服 ⑪書く（記述）場（経験）の保障 ⑫構成・表現の工夫（効果・意図）
	読むこと		⑬【知識及び技能】（「語彙」「情報」「読書」との関連指導 ⑭語彙力（量と質）の個人差 ⑮適切な言語活動の設定（主体的な思考・判断・表現を促す活動か）

課題を解決するために有効な  
4つの授業展開例を提案

【表B】

解決課題	① ⑬ ⑭ ⑮	③ ④ ⑤ ⑫	② ⑨ ⑪ ⑮	⑤ ⑥ ⑦ ⑧
提 案	語句の意味理解や使い方に対する認識が深まる展開例	伝えたいことに合う情報を集め、効果的な構成や表現を工夫して自分の考えを発信する言語活動を位置付けた展開例	詩歌や小説などを読み、引用したり解説したり、考えたことを伝え合ったりする言語活動を位置付けた展開例	指導事項を意識した「話すこと・聞くこと」の展開例
◆キーワード	◆語彙の関連指導	◆構成・表現の工夫（効果・意図）の指導	◆条件作文	◆ICT活用
指導事項	◎考えの形成 (C(1)オ) ○語彙 (知技(1)オ)	◎構成の検討 (B(1)イ) ○考えの形成・記述 (B(1)エ) ○読書 (知技(3)エ)	◎伝統的な言語文化 (知技(3)イ) ○考えの形成 (C(1)オ)	◎構成の検討・考えの形成 (A(1)イ) ○言葉の働き (知技(1)ア)
教 材	「わたしはおねえさん」 (光村図書2年下)	「日本文化を発信しよう」 (光村図書6年下)	「平家物語」 (光村図書2年)	「思いが伝わるプレゼンテーション」 (光村図書2年)
提 案 者	吉田 寛典 教諭 (仁王小学校)	猪鼻 裕之 教諭 (城南小学校)	佐々木 美香 教諭 (上田中学校)	藤原 誠吉 教諭 (黒石野中学校)
掲 載 頁	6頁～7頁	8頁～11頁	12頁～15頁	16頁

※提案の詳細については、次頁より示す。

提案 ①	語句の意味理解や使い方に対する認識が深まる展開例 【語彙の関連指導】	
	◎文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもつこと。(思・判・表 C (1) 才)	
	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。(知・技 (1) 才)	
教材「わたしはおねえさん」(光村図書2年下)		

《単元指導計画》

次	時	○学習活動		○学習活動・語彙の量と質の充実を図る手立て
1	1	○「わたしはおねえさん」を読んだ感想を伝え合い、学習課題を設定する。	導 入	1 前時の学習を想起し、本時を見通す。
	2	○感想カードを比較し、学習の目的と活動の見通しを確かめる。 ○学習計画を立てて見通しをもつ。		2 学習課題を確認する。 心にのこったところをつたえ合い、かんそうメモをよりよくしよう。
2	3	○物語の内容の大体を読み取り、すみれちゃんのなりたのおねえさん像について考える。	展 開	3 グループごとに交流し、考えを広げる。 ・心に残った場面とそのわけ、 <b>中心人物に対する考えを交流</b> し、中心人物の理解を広げる。
	4	○すみれちゃんはなぜかりんちゃんを怒らなかったのか考える。		4 <u>全体で交流し、考えを深める。</u> ・よいと思った友だちの考えを交流し合う中で、中心人物に対する考えを表す <b>語句の差異に気付いたり、よりよい語句を考えた</b> りして、中心人物への理解を深める。
	6	○すみれちゃんはなぜかりんちゃんが描いた絵を消しかけて、消すのをやめたのか考える。		
3	7	○心に残ったところを決め、感想メモを書く。	終 末	5 本時の学習を振り返る。 ・板書やメモに付け足された言葉を振り返り、中心人物に対する考えを表す <b>語句の量や質(使い方)が充実したことを自覚</b> させ、日常生活に活かそうとする意識を高める。
	8	○感想メモを伝え合い、感想カードをまとめる見通しをもつ。		
	9	○感想カードをまとめ、発表し合う。		
	10	○学習の振り返りをする。		

《単元の言語活動と語彙指導の関わり》

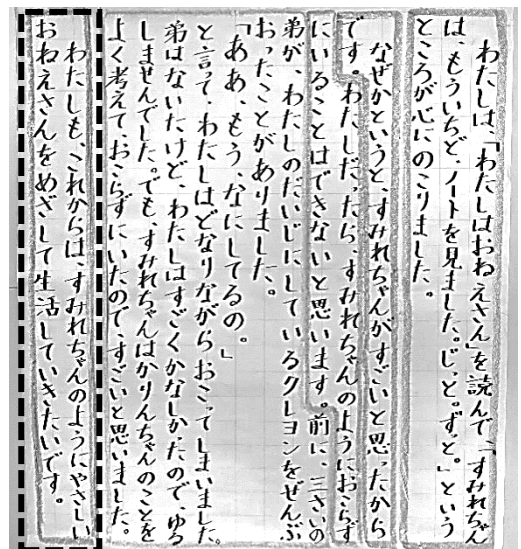
単元の言語活動である感想カードの要素に、子どもたちが必然的に語彙について吟味するための要素を入れる。

感想カードの例

- ①わたしは、「わたしはおねえさん」を読んで「○○(叙述)」というところが心に残りました。 心に残った場面
  - ②なぜかという、～。 理由
  - ③わたしだったら、～。 自分だったら わたしも、～。 これまでの経験
  - ④これからは、すみれちゃんのように**妹思いなやさしい**おねえさんを目指して生活していきたいです。 今後について
- ※④のように、心に残った場面の**すみれちゃんに対する考えを表す語句**を入れることで、カード作りに向けた活動や交流する際に考えの差異が生まれ、語句を吟味するようになる。

やさしい	おねえさん	
がまんづよい	おねえさん	
妹思いな	おねえさん	
思いやりのある	おねえさん	
おこらない	おねえさん	
りっぱな	おねえさん	
親切な	おねえさん	…等

○○なおねえさんの書きぶりの差異から言葉の意味や使い方を吟味していく







<b>提 案 ②</b>	伝えたいことに合う情報を集め、効果的な構成や表現を工夫して自分の考えを発信する言語活動を位置付けた展開例 <span style="float: right;">【構成・表現の工夫（効果・意図）】</span>
	◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。（思・判・表 B (1) イ）
	○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。（思・判・表 B (1) エ）
	○日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げること役立つことに気付くこと。（知・技 (3) オ）
教材「日本文化を発信しよう」（光村図書6年）	

《単元指導計画》

次	時	学習活動
1	①	○単元の見通しをもつ ・パンフレットで日本文化の魅力を伝えるという言語活動を知る。 ・「『鳥獣戯画』を読む」を読み、目的を確かめる。 ※4時間で「『鳥獣戯画』を読む」で構成や要旨、表現の工夫を捉える。また、並行読書を行いながら、日本文化に関わる情報を集める。
	②	・著作権について知る。 ○本を読んで伝えたい日本文化を考える。 ・必要な情報をタブレットで集める。
2	③	・日本文化の魅力について、伝えたいことを決める。（取り上げるテーマ、伝えたい魅力） ○同じテーマのグループで、パンフレット全体の構成を考える。
	④	・集めた情報の中から、伝えたいことに合う事例を検討し、必要な資料を選ぶ。 ○事例と伝えたい日本文化の魅力との関係を検討しながら、割り付けをする。
	⑤	○日本文化の魅力についての考えが効果的に伝わるように、書き表し方を工夫して、パンフレットを書く。
	⑥	
	⑦	
3	⑧	○パンフレットを読み合い、日本文化の見方や表現のよさを伝え合う。 ・学習全体を振り返る。

《第4時：主張を効果的に伝えるための割付を考える》

	学習活動 ☆学習内容 ○発問
導入	<b>1 前時の学習を想起し、本時を見通す。</b> <b>2 学習課題を確認する。</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           自分の考えを効果的に伝えるために、どのようにパンフレットを割り付けるとよいか。         </div>
展開	<b>3 パンフレットの例を基に、どのように割り付けられているかを確認する。</b> ☆見出しに対して、どのような事例が、どのように挙げられているかを確認する。 <b>4 事例を選び、割り付けを考える。</b> ○日本文化の魅力を効果的に伝えるために、どのような事例を挙げるとよいですか。また、どのように割り付けるとよいですか。 <b>5 用いる事例と割り付けについて、交流する。</b> ☆グループで交流する。（2～3人） ①取り上げた日本文化のテーマと、魅力について（見出し、リード文） ②どのような事例を取り上げるか（小見出し） ③どのように割り付けるか ☆全体で交流する。
終末	<b>6 事例と割り付けを見直し、学習を振り返る。</b> ☆交流を基に、割り付けを完成させる。 ○どのような事例を挙げたか。どのように考えて割り付けをしたか。

《事例を選び、割り付けを考える》

日本文化の魅力として取り上げたテーマについて、自分が調べたものの中から伝えたいこと（魅力・よさや特徴）が読み手に伝わるための事例はどれが適切かを考える。

集めた情報を読み手に効果的に伝えるために・・・

●事例がいくつあればよいか ●どういう順番だと効果的か ●写真や図表は使うか、使うならどれがよいかなど、筋道の通った構成となるように、用いる事例や資料で伝えたいことを明確にしながらかえ、付箋を使って実際に使用する事例に小見出しをつける。小見出しをもとに主張に合う構成かどうかについて交流をする。

◀用いる事例と割り付けについて、交流する▶

用いる事例とその順番について適切かどうか根拠を示し、効果的に伝わる構成かどうか交流する。  
 (※扱わなかった事例との差異についても話し合うことで、より主張に合う事例なのかどうか考えることもできる。)

- C1: 私は、和紙が伝統工芸や伝統芸能にも使われていることが魅力の1つだと思うから見出しを「和紙が引ききたる伝統工芸品『提灯』」にしたよ。見出しで読み手をひきつけて、共感しやすいように具体的な製品を紹介したいな。そして、なぜ使われているのか「丈夫さ」も伝えたいんだ。それに、文と製品の写真とを対応させることでより魅力が伝わると思うんだよね。
- C2: たしかに、私も調べてみて、色々な場面で使われているし、「丈夫さ」も和紙の魅力の1つだよ。それに、「丈夫さ」を説明することで、和紙のよさをさらに伝える点でもいいね。見出しもとても続きが気になる感じでいいけれど、まず、和紙が丈夫であるというよさを伝えたいので色々な芸能や製品に使われている構成の方が和紙のことをよく知らない人にとってはよさが伝わりやすい気がするな。
- C1: そっかあ。パンフレットは不特定多数の人が見ることも考えると、たしかに和紙のことを知らない人がいるのかも。そうすると、私が伝えたいことが伝わりにくくなることもあるよね。ちなみに、C2さんはどんな構成にしようと思っているの？
- C2: 私はというと、和紙が「意外と身近な生活にたくさん使われていること」が魅力だと感じているのね。でも、身近なものに使われていることを最初に伝えるよりも、さっきも言ったけれど、まず和紙の説明をしてからの方がいいと感じたのね。「『鳥獣戯画』を読む」でもさ、高畑さんは馴染みのない絵巻物について説明した上でよさを伝えていたでしょ。だから、私も和紙をよく知らない人のためにもまず説明をしてから、身近な生活の中にある製品の紹介をしたほうが、主張がより伝わると思ったからなんだ。

◎交流をしながら考えたことを全体で振り返り、再度構成を考えて割り付をする。

【C1の児童が書いた実際のもの】

丈夫な和紙が伝統芸能に!

どうして「和紙は丈夫なの?」

和紙は昔摩子などに使われてきました。今は傘やハリスミカルなものはよしと、勇ましい舞うカキなど、丈夫な物として使われています。

① 繊維そのものが長い  
 ② 繊維を取り出すとき  
 ③ 紙をすくとき「産品」を使えば道具に用いられています。  
 ④ 弱アルカリ性の溶液を使う

石見地方の伝統芸能「石見神楽」

この「石見神楽」にも使われている石州和紙のよさは、軽くてうすく、折なり穴をあけたりしてもやぶれにくいという点です。このよへ和紙のメリット

① 水に強くやぶれにくい  
 ② 軽くて動きやすい  
 ③ 折りたたんで運べる

① 水にぬれてもやわらかく、なまりにくい  
 ② 大粒のうすまりも承せて、遠方のある動作が可能  
 ③ 全長70cmと巨大なものだが、優待のよ

提灯

和紙は、ほごよく光を分散させるので、落ちつくやわらかな光になります。

岐阜提灯は、細い竹とゴに美濃和紙の中にも薄いものを使っています。明りを通すことで丈夫さを合わせもつ和紙だからできる伝統工芸品です。

見ていただけでいまでも美しい提灯です。

【C2の児童が書いた実際のもの】

新しい製品に和紙!!

昔から使われてきた「和紙」

みなさん「和紙」とは、「しゅうじ」や「ふすま」に伝わっている和紙なのではないでしょうか?

外からの日差しをやわらげる効果があります。また、和紙の繊維が湿度の調整をしてくれる効果があるので、かいてきい品に進化しているのです。

新しい製品に和紙が使われています。例えば、スマホケー、マスク、ブックカバーなどがあります。身近な効果もあります。

「和紙」は、昔から使われている身近な物だけでなく、最近では新しい製品に進化しているのです。さて、どのような製品になっているのでしょうか?

「和紙」は洋服

新しい「和紙製」品の中には、洋服や、くつ下、ストールなどもあります。

和紙には、し外線をさえぎることもできるの、はたを守る効果もあります。

最初「和紙」を紹介した「しゅうじ」と「ふすま」以外にも

「和紙」は、昔から使われている身近な物だけでなく、最近では新しい製品に進化しているのです。さて、どのような製品になっているのでしょうか?

和食の魅力として・・・

下の児童は、和食の魅力として、世界でも有名なものと捉えた。そこで、和食がなぜ世界的に有名になったのかを伝えることで、世界に誇れる料理である和食のよさを伝えようと考えた。その上で、和食には願いが込められていることや和食の工夫について事例を挙げることで、和食の魅力をより伝えられると考えて、このように表している。

「カリフォルニアロール」を説明する上で、補助的に写真を使うことで、どのようなものかの理解を助ける。

伝えたいこと（要旨）が効果的に伝わるために、事例の順番も考えて構成する。

要旨を題名にすることで、伝えたいことが一目でわかる。



世界で人気な和食「すし」  
すしは、日本でも外国でも大人気の和食です。この「すし」には、酢が使われています。酢は、殺菌・防腐・生ぐささを消す効果があり、糖分のあるものなら何でも原料にすることができ、便利な調味料で、世界でも使われています。そんな酢を使った「すし」が初めて外国に登場したのは、一九七〇年のアメリカで、「カリフォルニアロール」という巻きずしです。のりを気味悪がった外国人のために、のりを内側に巻いたすしです。他にも、世界では「フルーツすし」など、フルーツを生み出されています。このように、すしは色々な食材の組み合わせで、世界でどんなすしを作られるかも、日本のすしと違うから、顔をもつことができて、おいしいと思われ、日本のおいしいと思われ、すしを食

# 世界にほられる料理 和食

実は色々な良さがある。「正月料理」  
日本でお正月によく食べるのは、おせちや七草がゆなどの「正月料理」。この正月料理のおせちは、もともと神様へおそなえする食べ物でした。漬物は、時間もたつとす、でも、今は、様々な願いがこめられていて、自分たちが食べる料理です。例えば、黒豆は「まめにた」といいますように、一七の日に食べる七草がゆは、七種の薬草を入れてたおかゆです。ごちそうばかり食べたおなかを整えることができて、ただこの二つの正月料理は、ただでさえおいしいのに、実は色々な長所がある素晴らしい料理なのです。



発酵で、さらにおいしく  
チーズやヨーグルトだけでなく、パンや紅茶などの様々な食べ物が「発酵食品」です。発酵食品の一つの漬物は、時間がたつとす、はくなります。その原因は、乳酸菌が食べ物の中の糖分を食べて乳酸をつくりだすからです。このはたらきを「乳酸発酵」といい、乳酸発酵によって食べ物がおいしくなります。発酵食品は、発酵させてさらにおいしくした「エ夫」された食べ物なのです。



「和食」は、昔からの伝統的な料理です。なぜ、和食は「世界」にほられる料理といえるのでしょうか。



提 案 ③	詩歌や小説などを読み、引用したり解説したり、考えたことを伝え合ったりする 言語活動を位置付けた展開例 【条件作文】
	◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を 知ること。(知・技 (3) イ) ○文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり 深めたりすること。(思・判・表 C (1) オ)
	教材「平家物語」(光村図書2年)

古典学習の導入に当たり、「古典作品は、なぜ長い間読み継がれてきたのだろう」という問いを提示し、自分の考えをもった。以下のワークシートを用いて学習した。

「4 単元の学習を終えて」 「古典作品は、なぜ長い間読み継がれてきたのだろう？」に対する自分の考え

月	日	月	日	月	日	月	日	学習日
	「3 漢詩の風景」		「2 徒然草」		「1 平家物語」			教材
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           単元を貫く学習課題 (大テーマ)         </div>								「0 古典の学習を始める前に」 古典作品は、なぜ長い間読み 継がれてきたのだろうか？
	「3 漢詩の風景の学習を終えて、大テーマについて考えたこと」		「2 徒然草の学習を終えて、大テーマについて考えたこと」		「1 平家物語の学習を終えて、大テーマについて考えたこと」		「0 みんなの考えを聞いて、今日時点での自分の考え」	自分の考え 記述欄

いにしえの心を訪ねる  
 二年組 番氏名

→この導入に対する生徒の考え

- どの時代の人を読んでも面白いから
- 歴史のことがわかるから。その時代の様子がわかる。
- 昔の人ならではの考えがわかるから。
- 今も昔も多くの人々の心に響く話があるから。
- メッセージ性や教訓があるから。
- 今では考えられないようなことが書かれているのではないか。
- 政治的なこともためらわずに書いているからではないか。
- 面白さや魅力があるから。
- 昔の人の生き方、考え方の根の部分大切にしたいから。
- 独特のリズムや言葉遣い、韻を踏んでいて頭に残りやすいから。
- 今の時代に役立つ話や格言のようなものがあるから。

これらをもとに、単元を貫く学習課題を「それぞれの作品から、現代に生きる私たちが学べることは何だろう。」と設定し、「平家物語」「徒然草」「漢詩の風景」を学習する見通しをもった。

<単元指導計画>

次	時	主な学習活動
1	①	○音読を楽しむ。 ・平家物語の概要を理解する。 ・冒頭部分を朗読して和漢混交文の響きを味わう。
2	②	○登場人物の言動から、心情を考える。 ・那須与一の言動に注目する。
	③	○登場人物の言動に対する自分の考えをもつ。 ・「あ、射たり」「情けなし」の二つの反応に対して自分の立場を明らかにして考えをもつ。
	④	○登場人物の言動から、心情を考える。 その人物が置かれている立場や時代背景を想像する。 ・弓流しの場面での義経の言動に注目する。
3	⑤	○作品を通して、考えたことをまとめる。 ・現代と共通する考え方、現代とは大きく異なる考え方に気付く。

「アイスプラネット」「盆土産」「字のない葉書」で学習したことを手掛かりにして読むことができた。

「平家物語」から現代に生きる私たちが学べることはなんだろう。  
単元を貫く学習課題（大テーマ）

- 1 単位時間の学習課題  
1-①  
どんな特徴があるかを音読してつかむ。
- 1 単位時間の学習課題  
2-②  
那須与一はどのような人物か。
- 1 単位時間の学習課題 2-③  
周囲の人々の反応に対する自分の考えをもつ。
- 1 単位時間の学習課題 2-④  
義経はどのような人物か。
- 1 単位時間の学習課題  
3-⑤  
「平家物語」から現代に生きる私たちが学べることはなんだろう。

<第3時>

導入	0	古典独特のリズムをつかみながら、音読をする。
	1	学習課題を確認し、見通しをもつ。 <u>周囲の人々の反応に対する自分の考えをもつ。</u>
展開	2	課題を解決する。 ① 自分なら、「あ、射たり」「情けなし」のどちらの反応をとるか、という立場を明らかにする。 ② ①で選んだ立場について、その根拠や理由を含めて条件作文形式で書く。
	3	学級全体で交流する。 自分と同じ立場をとった人でも、理由が異なることや、違う立場をとった人の理由を知る。
	4	本時の学びを振り返る。
終末		

**【条件に沿って文章を書く活動の位置付け】**  
 ・日頃、書き出しに戸惑い、なかなか書き出せない生徒もいるが、立場を明確にさせることで、書き出しがスムーズになった生徒が見られた。  
 →テーマの設定が有効だったと考えられる。  
 ◎3領域を通して、条件に沿って書く活動を位置付け、記述力を高めていく。

<条件作文>

- 条件① 一段落目で自分の立場を明確にする。
  - 条件② 二段落目にその根拠や理由を書く。
  - 条件③ 三段落目で再度自分の立場を明確にし、結論を書く。
- ※字数は8行以上12行以内。







<b>提案④</b>	<b>指導事項を意識した「話すこと・聞くこと」の展開例</b> <span style="float: right;"><b>【ICT活用】</b></span>
	◎自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。(思・判・表 A (1) イ)
	○言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。(知・技 (1) ア)
教材「思いが伝わるプレゼンテーション ～「相手意識」をもつとは～」(光村図書2年)	

○本時の活動内容…プレゼンテーション原稿を推敲する

学 習 活 動	
導入	1 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             どうすれば、相手に思いが伝わるプレゼンテーションになるだろうか           </div>
展開	2 課題解決の見通しをもつ。 ○解決方法に意図をもたせる。  3 課題を解決する。 (1)前時のアイデアを使い原稿を推敲する。  (2)活動の成果をグループで交流する。  (3)交流をもとに、原稿を修正する。
終末	4 振り返り ・推敲結果 ・活動の過程や、工夫した方法の有効性

<指導法の工夫ポイント>

指導事項を達成するためには、プレゼンテーションの仕方をスキルとして教えるのではなく、**「どうすれば相手に思いが伝わるか」の視点で、観点をもって原稿を練り直し、交流を通して相手意識について認識を深め、活動を振り返り学びを確かなものにする**ことが重要である。

そのために、以下を満たす指導法が必要である。

- ①原稿を、視覚的に分かりやすく推敲する方法。
- ②他者と、短時間で感想交流をする方法。
- ③学びの前後を、比較できるようにする方法。



上記から考えた指導法

**ロイロノート**で原稿を推敲し、**共有ノート**の機能を用いて共同編集することで**効果的に推敲や交流、振り返り**を行う。(下図)

①生徒は「分かりやすい」「説得力がある」「興味を引く」話にする意図をもち、「展開・構成」「内容」「言葉」の観点で工夫をしていく。  
ロイロノートを使用することで、順序の入れ替えや言葉の書き直しなど、推敲が容易になった。

②3～4人グループで、予め聴き手の感想をカードで貼りつける。活動後、貼ったカードについての意図や思いを聞き合うことで、短時間で感想を交流できる。  
共有ノートを使うことで、発言することが苦手な生徒も関わりやすくなり交流が円滑になった。

(図)

震災・復興学習で水産業に関わる人の話について聞きました。特に心に残ったのは、その人の相手の発言の理由を考える、聞き取るという考え方です。

震災・復興学習で観光業に関わる人の話を聞きました。特に心に残ったのは、人の力がないと何もすることができない事と人を大切にすることです。

このような体験から、私は相手の事について今より大切にし、考えて行動していきたいと考えました。なぜなら、今の自分に足りないと考え、直していきたいと思ったからです。

私はこれから相手のことを考えて、気持ちを理解して行動していきたいし、大切にしていきたいと思いました。

推敲後

私は宮古での震災・復興学習を経験し、一緒に生きている仲間や家族のことを大切にしたいという気持ちが強くなりました。分かりやすい

そう思ったきっかけは二つあります。一つ目は水産業に関わる方の話からです。この方の話で特に心に残ったのは、「その人の相手の発言の理由を考え、聞き取る」という考え方です。興味を引く

相手が何をしたいのか考えずに行動してしまい、失敗してしまう。皆さんにも、同じような体験はありませんか？私は、今までにこういうことが何回もありました。だから、この考えにとっても共感しました。説得力ある

二つ目は観光業に関わる人の話からです。特に心に残ったのは、「人の力がないと何もすることができない」とこと、「だからこそ、人を大切にすること」ことです。皆さんも考えてみてください。何か大きな問題に向かおうとする時、一人の力で全てを解決はできません。そんな時、仲間になってくれる人がいることが、大切なのだと思います。興味を引く 分かりやすい

二つのお話から、人が幸せに生きていくためには、他者のことを考えることが必要だと感じました。興味を引く

今の自分は、相手のことを十分に考えることができているでしょうか。改めて考えてみると、まだまだ足りないと思います。これからは、もっと相手のことを考え、気持ちを理解しようと思います。それが、仲間や家族のことを大切にすることにつながっていくと、信じています。説得力ある

③ロイロノートを使用し、原稿を複製しておくことで、推敲前との比較・振り返りがしやすくなった。

## VI 研究のまとめ

諸調査結果の分析や授業改善の協議等を通して、改めて次の点の重要性を認識した。

- ①学習指導要領の内容を正しく理解すること。  
→国語科で育成すべき資質・能力を正しく捉える（＝「指導事項」の理解）。
- ②〔知識及び技能〕と〔思考力・判断力・表現力等〕を関連させて授業を構想すること。
- ③言語活動を通して資質・能力を育成する授業を引き続き構想すること。

以上の点を踏まえて提案した展開例（指導法）を参考に、次のように、各学年の授業改善が図られていくことを期待する。

### 《提案1》

- ・授業者が意識的に「語彙指導」を授業に組み込むことにより、効率的に語彙力を獲得できるようにする。
- ・語彙の「蓄積」から「活用」を重視し、話や文章の中で使いながら獲得できる学習活動を設定する。
- ・語彙量や認識の個人差は、課題解決の過程における「対話」を通して補充していく。
- ・意識的な語彙指導については、中学校でも継続する（別添1【提案：中学校における語彙の関連指導例】参照）。

### 《提案2》

- ・「言語活動」として設定したパンフレット作りや新聞作り等を指導し、成果物を評価するのではなく、成果物の作成を通して「指導事項」を指導し、獲得した力を評価する。
- ・図表や写真等の資料活用については、活用の「効果」を「資料があると分かりやすい」と捉えるのではなく、資料のどんな情報が文章の何を補足している等の捉えができるようにし、自分の表現の際に「意図」として活用できるようにする。
- ・資料活用と情報の扱い方を関連させながら、中学校でも意識的に指導を継続する（別添2【提案：中学校における資料活用（情報の扱い方）の指導例】参照）。

### 《提案3》

- ・古典教材の内容（訳・作者・文法・歴史的背景等）について知識としてのみ指導するのではなく、古典教材を通して、指導事項を指導できる学習活動を設定する。
- ・声に出して読む、条件に沿って書く、自分の考えを話す等、表現の場を意識的に設定する（＝「古典」の学習における言語活動の工夫）。
- ・課題の一つである「条件に沿って書く」力を高めるために、3領域を通して学習活動に位置付け、継続的に指導する。

### 《提案4》

- ・「話すこと・聞くこと」領域においても、言語活動（スピーチ・話し合い・メモ等）を指導し、言語活動の達成度を評価するのではなく、言語活動を通して、獲得した資質・能力を自覚させ評価する。
- ・思考の可視化、情報操作の効率化等がねらいにせまるために有効である場面において、積極的にICTを活用する。
- ・「話すこと・聞くこと」領域における「考えの形成」に留意し授業づくりをする。特に、「話すこと」の「構成の検討」の学習過程、「話し合うこと」の「話し合いの進め方の検討」の学習過程には、それぞれ「考えの形成」まで含まれていることを踏まえて授業の展開（特に学習のまとめと振り返り）に留意したい。

本研究を通して、市内小中学校の国語授業の質の高さを再認識できた。諸調査や他教科等の学習、生活や社会において、今後も子どもたちが獲得した資質・能力を存分に発揮することができるよう、国語授業の一層の質の向上を目指したい。

### 【参考資料】

- ・小学校学習指導要領解説【国語編】
- ・中学校学習指導要領解説【国語編】
- ・令和3年度各教科教育課程研究協議会【中学校国語部会】文部科学省教科調査官資料

(別添1)

中学校における〔知識及び技能〕と〔思考力・判断力・表現力等〕の関連を意識した授業づくり例

1 「語彙」(中学校 第1学年)

〔知識及び技能〕 の指導事項	〔思考力・判断力・表現力等〕の指導事項		
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
語彙	(例) 表現、共有	(例) 推敲	(例) 構造と内容の把握

例えば…  
「聞いて分かりにくい語句」に注意し「聞いて分かりやすい語句」に変える学習。

例えば…  
事象や行為を表す語句に注目し、より適切な語句を選択する学習。

例えば…  
心情を表す語句に着目して、様々な人物の心情の変化をとらえる学習。

2 「情報の整理」(中学校 第2学年)

〔知識及び技能〕 の指導事項	〔思考力・判断力・表現力等〕の指導事項		
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
情報の整理	(例) 考えの形成	(例) 構成の検討	(例) 精査・解釈

例えば…  
それぞれの主張の内容や根拠について、図表で整理しながら討論を深める学習。

例えば…  
論理の展開を図示した内容を取り入れて意見文を書く学習。

例えば…  
詩・短歌・俳句や古典の文章に記号や文字情報を書き込みながら解釈したことを説明する学習。

3 「読書」(中学校 第3学年)

〔知識及び技能〕 の指導事項	〔思考力・判断力・表現力等〕の指導事項		
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
読書	(例) 表現、共有	(例) 考えの形成、記述	(例) 精査・解釈

例えば…  
書評合戦で、取り上げた自分の本が自分に与えた影響を話したり、その本の評価を語ったりする学習。

例えば…  
最近気になっているニュースについて考えていることを、本や資料を引用して説明する文章を書く学習。

例えば…  
新聞を批判的に読みながら、記事に表れているものの見方について考えたことを文章にまとめる学習。

(別添2) 【提案：中学校における語彙の関連指導例】

「読むこと」における語彙の量と質の充実を図る手立て


1 学習指導案

1 単元名	語り手に着目して、作品を読み深めよう 中心教材「少年の日の思い出」(国語1 光村図書)		
2 目標	◎ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] (1) ウ ◎ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 [思考力・判断力・表現力等] C (1) イ ○ 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」		
3 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1) ウ	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 C (1) イ	積極的に事象や行為、心情を表す語句に注意しながら登場人物の心情の変化について描写を基に捉え、学習の見通しをもって別の人物の視点から作品を書き換えている。
4 指導計画 (全6時間)	【言語活動】 登場人物のものの見方を踏まえ、別の人物の視点から作品の一部を書き換える。		
		主な学習活動	評価規準・評価方法
	捉える	1 本文を通読し、登場人物の関係を整理する。 2 作品の展開と「語り手」の特徴を捉え、学習の見通しをもつ。	【知・技：「ことばノート」】 「熱情」「けがす」「悪徳」などの語句を理解し語感を磨き語彙を豊かにしている。
	読み深める	3 登場人物の視点に沿って、人物像を捉える。 4 場面に沿って、人物の行動と心情の変化を捉える。	【思・判・表：学習シート、発言】 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。
考えをもつ	5 別の人物の視点から、作品の一場面を書き換える。… <b>本時</b> 6 書き換えた文章を読み合い、作品や人物像について気付いたことを交流する。	【主体的：書き換えた文章シート】 書き換える語句の意味に注意しながら別の視点から作品を書き換えようとしている。 【知・技：書き換えた文章シート】 「冷淡」「あなどる」などの人物に関する語句や心情の表現など、書き換える際、文脈上の意味に注意して文章の中で使っている。	
5 本時展開	①ねらい 視点に設定した登場人物のものの見方や考え方が表れるような表現を工夫し、選んだ場面を書き換えることができる。		
	②評価規準		
	概ね満足できる状況 (B)	Bにするための支援	
	視点に設定した登場人物のものの見方や考え方を踏まえ、言動や心情を表す表現を吟味しながら、「僕」以外の人物を語り手にして場面を書き換えている。	多角的な視点で言動や心情の解釈を深めた「読み深める」段階の学習提示(人物像、心情の変化、重要語句)を手掛かりに、人物の視点に沿った表現となるよう、言葉の正誤・適否・美醜等について吟味できるようにする。	


③展開		○主な学習活動	語彙の量と質の充実を図る手立て
導入	①別の視点に設定する登場人物を決める。 ②その人物の特徴を踏まえ、場面の出来事を捉え直す。		【語彙への意識付け】 ・書き換えるために吟味したい行為や心情を表す語句に着目する。
展開	③書き換える際に吟味したい、人物の行為や心情を表す語句を「ことばノート」に書き出し、類義や対義、具体と抽象、関連のある表現など調べる。 ⑤調べた語句を文章上で使う場合の正誤・適否・美醜等について意見を交流する。 ⑥吟味した語句を使いながら書き換える。		【語彙を増やす】 ・一つの語句から関連する語句や表現を辞書や意見交流で広げる。 【語彙の質を高める】 ・使用した語句の文章上での妥当性について吟味する。
終末	⑦本時の学習について振り返る。		【活用への意識付け】 ・語彙の量と質の充実を自覚化させ、日常的に話や文章の中で活用しようとする意識を高める。

## 2 「展開」における指導例


別の視点で書き換える際に、吟味したい語句について調べましょう。



謝罪場面をEメールの視点で書き換えようと思うんだけど、そうするとEメールのとなった「冷淡に」「あなどるように」といった行為をどのように表現したらよいか、吟味が必要だなあ。



母への告白場面を母の視点で書き換えるために、この時の母の心情により近い「驚く」「悲しむ」という意味の表現が別にないか、「小声で言った」の心情に合う他の「言う」という表現がないか調べたいな。



※日常的に、着目した語句等について調べ吟味したことを書き溜めている「ことばノート」より

**（意味）**  
相手を軽く見てばかにする。  
みくびる。

**（類義語）**  
あざける／見下す／見下げ  
る／卑しめる／蔑む／おとしめる／軽蔑／蔑視

あなどる

**（僕視点）あなどるように～  
（Eメール視点）**  
・価値の低い者として見下げた  
・とるに足りない存在と呆れた

**（対義語）**  
敬う／畏れる  
崇める／恐れる

**【悲しみを表す言葉】**  
むせぶ（息を詰まらせなく）／悲憤（悲しんで憤る）／哀感（なんとなく悲しい）／不憫（哀れ）  
断腸の思い（つらい悲しみ）／心許ない（心配）

**（悲しむ原因）**

- ・虚しさ
- ・憂鬱
- ・悲歎
- ・喪失感

悲しむ

**（類義語）**  
嘆く／言葉が出ない／胸が潰れる／胸が詰まる／心が痛む／惨め／悔しさ

設定した人物の視点で書き換えたとき、使った表現は、  
①人物の視点に沿っているか  
②文章上での意味は適切か  
③よりよい表現はないか  
話し合いながら吟味しましょう。



いいと思います。「僕」の視点からも「冷淡に」「軽蔑的に」「冷然と」「軽蔑」という表現が並んでいます。そのように「僕」に映るくらいの態度であったということですね。  
私は「悲しむ」の表現に困っています。母親の心情を捉えて「私は驚き、～と思うと心が痛んだ」と我が子と思う優しい表現にしようと思うのですが、もっと心に響くような表現はないでしょうか…。



「あなどるように～立っていた」とは、「僕」から見た姿だから、Eメールは実際どのような気持ちでその場にいたのかを表現したいのだけれど「罵りさえしなかった」わけだから、やはり呆れて軽蔑していると考えていいですね。すると「僕」からも見えているように、「呆れてものも言えず、価値のない人間であった彼を見下げた」という表現はどうでしょうか。



**「書くこと」における言語活動と「情報の整理」の内容を関連付けた指導**

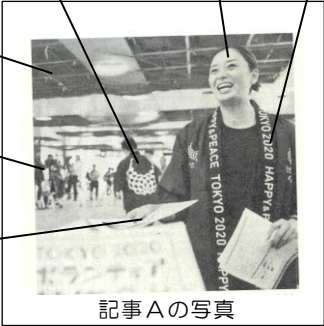
1 学習指導案

1 単元名	報道文を比較して読み、自分の考えをまとめよう 中心教材「報道文を比較して読もう」（国語3 光村図書）		
2 目標	◎ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。〔知識及び技能〕(2)イ ○ 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。〔思考・判断力・表現力等〕B(1)ア ○ 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝えようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕		
3 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 (2)イ	「書くこと」において、目的や意図に応じて社会生活の中から題材を決め集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 B(1)ア	粘り強く集めた材料の客観性や信頼性を確認し、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
4 指導計画 (全3時間)	【言語活動】報道文を比較して気付いたことや考えたことを文章にまとめる。		
		主な学習活動	評価規準・評価方法
	1	① 報道文を読み、課題意識を持つ。 ② 観点ごとに情報を整理し、着眼点を参考に情報の客観性や信頼性を確認しながら表にまとめる。	【知・技：表シート】 情報の事実関係や裏付ける根拠、情報の発信元や発信時期など、情報の信頼性を確かめながら表にまとめている。
	2 本時	① 着眼点による比較を通して気付いたことや考えたことについて話し合う。 ② 比較したことと話し合ったことを基に、伝え方の効果や書き手の意図について考える。	【思・判・表現：表シート、発言】 比較した情報の客観性や信頼性を確認しながら、伝え方の違いを考えている。
3	① 報道文を比較して考えたことを文章にまとめる。 ② 書いた文章を読み合い、学習の振り返りをする。	【主体的：記述】 情報の信頼性について考えたことを比較したことや話し合ったことを基にしながら文章にまとめようとしている。	
5 本時展開	①ねらい 比較した情報の客観性や信頼性を確認しながら、伝え方の違いについて考えることができる。		
	②評価規準		
	概ね満足できる状況（B）	Bにするための支援	
	表にまとめた観点ごとの情報を、信頼性を確かめながら、効果や意図という視点で比較し、違いについて気付いている。	情報の信頼性を確かめられるよう、情報の事実関係や裏付ける根拠、情報の発信元や発信時期、出典や引用に着目できるようにするとともに、それぞれの情報と効果や意図のつながりを視覚的に捉えられるよう	

		にする。
	③展開	
	○主な学習活動	「情報の整理」の理解を深める手立て
導入	①示された着眼点を参考に、気付いたことや考えたことをシートに書く。	【必要な情報の取り出し】 ・観点に沿った情報を媒体の中から取り出し、表に書き分ける。
展開	②比較して気付いたこと等を交流しながら、根拠の妥当性について検証する。 ③比較したことと話し合ったことを基に、伝え方の効果や書き手の意図について話し合う。	【情報の整理】 ・信頼性を確かめる（情報の事実関係や裏付ける根拠、情報の発信元や発信時期、出典や引用の確認）。 【活用への意識付け】
終末	④本時の学習について振り返る。	・情報を整理する有用性を自覚化させ、自分が情報を発信する際に活用しようとする意識を高める。

## 2 「展開」における指導例

写真からわかる情報をできるだけ多く取り出しましょう。




記事Aの写真

狭い場所

取材2名

深刻な顔

ちらしを見ている人



記事Bの写真

写真から分かる情報とほかの情報とのつながりを考えながら、写真の効果や書き手の意図について話し合しましょう。

広々とした場で大勢の人に呼び掛けていているような写真だから、見出し「2020へ」や小見出し「史上最大」という言葉に合っているように思います。読み手が「やってみようかな」という気持ちになれるという効果を感じました。

小見出しの「批判」を裏付ける実際の声も記載されているけれど、笑顔とは違う深刻な顔と考え込んでいるような手前の女性のアップは、批判もあるから慎重にという印象を与える効果が大きいと思いました。記事Aと同じ人と場所なのに、あえてこの場面を使うというところに、書き手の意図を感じます。

しかも記事Aは、ボランティア募集スケジュールが掲載されているので、これだけの期間をかけて多く募集をするのだという、「史上最大」の言葉の根拠にもなっているような気がします。記事の最後に「またとない機会なのでやってみよう」という実際の声が紹介されている効果も大きいですね。

様々な情報の中から、読み手が前向きになれるようなことだけを強調して伝えているように感じました。

さらに記事Bは、対談の様子の写真も掲載しています。見出しの「議論尽きぬ」の信頼性を高めている写真だと思いました。「議論尽きぬ」を裏付ける根拠として、多様な立場の意見が紹介されていることも重要ですが、この写真の「深刻な顔」は記事の内容を象徴しているようにも思います。

22